

Rikko Nakamura

オー
○美術館企画展

写真家 中村立行の軌跡

—モノクロの昭和/ヌードの先駆—

2013.10.19(土) ~ 11.6(水)

10:00~18:00(但し、期間中金曜日は20:00まで開館、最終日17:00閉館) 休館日：毎週木曜日

学芸員によるギャラリートーク

平成25年10月20日(日)・26日(土)・11月4日(振休・月) 11:00、14:00の2回

観覧料：一般200円、高校生以下、障がい者、70歳以上の方は無料

主催：品川区、 品川文化振興事業団

オー
○美術館

品川区大崎1-6-2 TEL03-3495-4040
大崎ニューシティ2号館2F



1. 学童疎開「時たまの入浴ではしらみは減らない」(1944.10)



2. ある老婆(1949.8)



3. 「若い人」御宿の海女(1956)



4. 輪タクの終焉(1953.2)

◇学童集団疎開の記録 ◇戦後生活の真実 ◇ヌードへの道 ◇オブジェ ◇路傍 ◇街の灯 トワイライト大井町
写真家 中村立行のアマチュア時代からプロの時代に求め続け、自ら焼き付けた作品を中心に関連資料約200点を展示。

開催にあたって

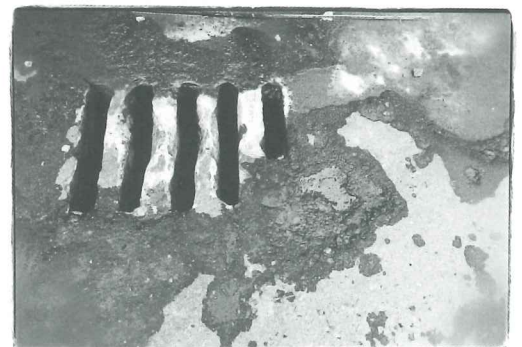
品川区民芸術祭2013の企画展として「写真家 中村立行の軌跡—モノクロの昭和/ヌードの先駆」を開催いたします。

中村立行氏は、昭和12年に当時荏原区(現、品川区)宮前尋常小学校の図工の先生となった後に写真を始め、雑誌や書籍から撮影法・現像・焼付・引伸方法などを独学で習得。その根底には東京美術学校(現、東京藝術大学)油絵科でのデッサンが存在しているとされています。

太平洋戦争末期、立行氏が宮前国民学校の学童集団疎開に同行した際に撮影した作品は、歴史写真としても貴重なものです。帰京後は現在の品川区を拠点とし、ヌードを芸術作品としてその水準を高めるなど多くの作品を残しました。今回は、立行氏が晩年、自身でトリミングして焼き付けた作品から200点ほどを関連資料とともに展示いたします。ノスタルジックな戦後風景とともにヌードの曲線のすっきりしたフォルムと、モノクロ写真でありながらどこかに色を感じさせる空気感が伝われば幸いです。

平成25年10月

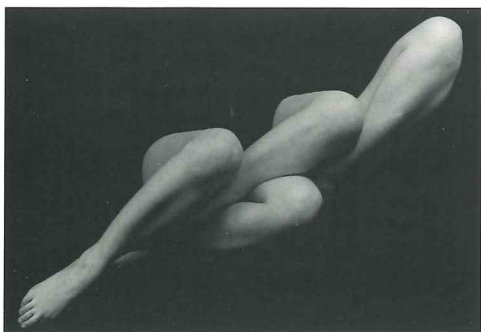
公益財団法人品川文化振興事業団



5. 路傍「排水口」(1973)

学芸員によるギャラリートーク

平成25年10月20日(日)・26日(土)・
11月4日(振休・月)
11:00、14:00の2回



6. 習作(1955)



7. 浜村美智子(1956) 東京都写真美術館蔵

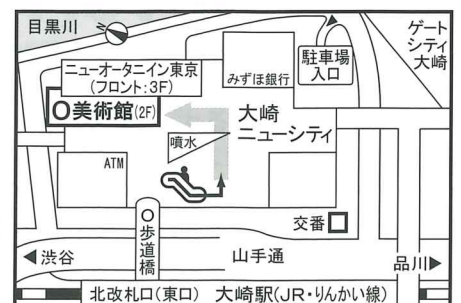
開催期間：2013年10月19日(土)～11月6日(水)
午前10時～午後6時(入館は閉館時間の30分前まで、
最終日11月6日は午後5時閉館)休館日：木曜日
※但し、10月25日、11月1日(金)は午後8時まで開館
観覧料：一般200円
高校生以下・障がい者・70歳以上の方は無料

主催：品川区、 品川文化振興事業団

会場： 美術館

〒141-0032
東京都品川区大崎1-6-2
大崎ニューシティ・2号館2F
問い合わせ：Tel 03(3495)4040

アクセス：JR線・りんかい線大崎駅
(北改札口・東口) 下車徒歩2分、
東急バス(大井町駅-渋谷駅)大崎
駅下車徒歩2分



※O歩道橋を渡り、エスカレーターで2Fへ降りて飲食店舗街奥